

フォーラム「フランスから考える 民俗資料の収集保存と活用方法」

科研費基盤研究C（課題番号：23K00959）「民俗資料」の収集保存基準と検索名称の開発:工場部品から日記まで

- | | |
|-------------|---|
| 13:15-13:25 | 問題提起「あふれかえる民俗資料の未来」
宇仁義和（東京農業大学生物産業学部） |
| 13:25-13:55 | 報告1「民俗資料の収集と保存に関する小規模地方博物館の状況」
持田誠（浦幌町立博物館） |
| 14:00-15:30 | 講演「フランスの博物館と民俗資料の収集保存と活用」
アリス・ベルトン（グルノーブル・アルプ大学） |
| 15:40-16:10 | 報告2「民俗資料のメタデータと情報化保存の可能性」
本間浩一（慶應義塾大学附属システムデザイン・マネジメント研究所） |
| 16:15-16:45 | 総合討論 |
| 17:00 | 総員退出 → カフェで懇談会 |

13:15–13:25問題提起「あふれかえる民俗資料の未来」

宇仁義和（東京農業大学生物産業学部）

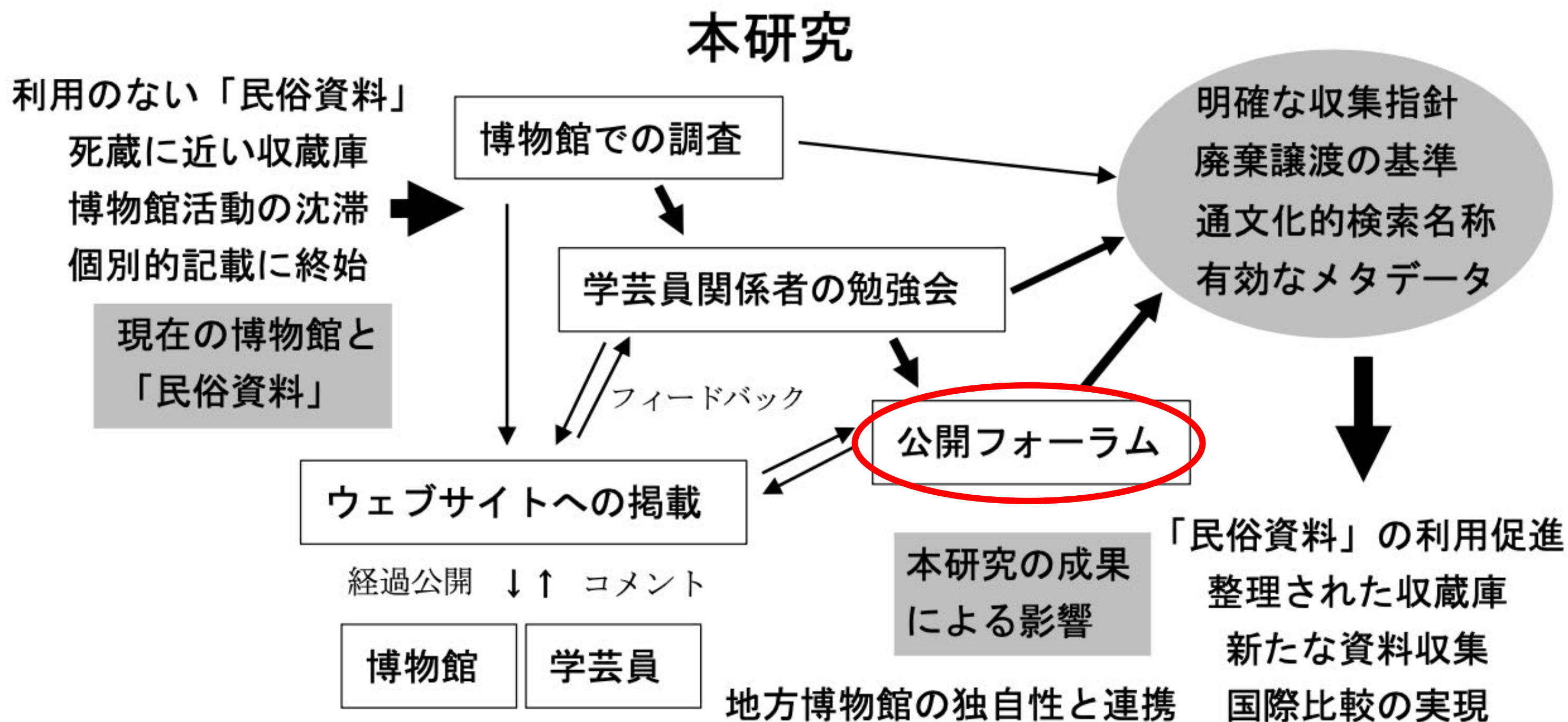
科研費基盤研究C（課題番号：23K00959）

「民俗資料」の収集保存基準と検索名称の開発:工場部品から日記まで

3年間の内容

- 1 収集指針の提案
- 2 廃棄と譲渡に関する基準の提示
- 3 検索用メタデータの追求
- 4 通文化的検索名称の考案
- 5 海外博物館での扱いの共有

研究のねらい



民俗資料の特徴

- 1 立体大型、不定形
- 2 量産品と価値不明
- 3 来歴や経験からの資料価値
- 4 名称の揺らぎ
- 5 未審査未選定
- 6 連携と分担の不足
- 7 活用の議論不足
- 8 未検討の廃棄や処分

各地の博物館が同じ資料を複数所蔵する意味はあるか



斜里町立知床博物館農業資料等収蔵施設

検索名称の設定 の必要性



農研機構について 研究情報・SOP 産学連携・品種・特許 プレスリリース・広

ホーム / 農業機械研究部門 / 資料館 / 施肥・播種用 / 068 水稲直播機(湛水式タコ足式)

農業機械研究部門

資料館

068 水稲直播機(湛水式タコ足式)



北海道の湛水用タコ足式水稲直播機を改良したもの。比較的小形にし、播種板の開閉は後退用のハンドルのところで操作できるようになっている。また、4個の強化ビニール製の車輪が一侧についている点も便利。1965(昭和40)年ころに狩野秀男(当時当研究所研究第1部長)試作。

水稲直播機 (湛水式タコ足式)



多足式直播機
俗に、たこ足と呼ぶ

4名称の揺らぎ



水田直播機
通称タコ足といわれた

たこ足直播器



昭和式種蒔器

黒田式直播機 (タコ足)
／たこ足直播機



受入登録手続
の再検討、
それに必要な
近隣館との
役割分担、

活用も明記

諏訪市博物館

諏訪市博物館 資料の収集・収蔵・活用方針

<考え方>

現在の人々の暮らしは歴史のうえに成り立ち未来へつながるが、流通や情報のグローバル化で地域固有のものが失われつつある。地域のアイデンティティともいえる歴史を、現在、そして未来へと伝えていくためには、遺された地域資料を適切に保存・活用することが不可欠である。

諏訪の歴史的な特性を踏まえると、必然的に諏訪信仰に帰結する。その例は、生き神として崇められた大祝、そこから発生した武士諏訪氏や家臣、本拠とした城や城館、城下町、神仏習合、御渡り、式年造営、諏訪社と結びつきが深い神社仏閣や村々での営み、神車の舞台となつた自然環境

■民俗

① 収集方針

基本的には近代以降の主に生業に使用する民具は受け入れない（※諏訪地域固有の特徴を持つものは除く）。価値不明のものは専門家の意見を仰ぐ。また、近隣の市町村に確認し同種の収蔵品がある場合は受け入れない。

江戸時代の民具は資料の伝来背景等を考慮し受け入れを検討

② 資料の保管基準

- ・収蔵資料の保管先は原則第一収蔵庫。可能な限り資料群ごとにまとめて保管する。
- ・時代、形式など重複あるもの、全国的に流通した画一的なもの（戦後の大量生産品など）は出来るだけ活用し、寄贈者不明の部品等で活用出来ないものは廃棄処分を検討する。

量産品は対象外の民俗系博物館もある



博物館：民俗資料は積極的に収集していない。学芸員は民俗芸能が専門。
 民俗資料：生涯学習スポーツ課文化財が担当→資料館や廃校で保存
 （飯田市美術博物館）



以上2点の事例は知られていない
 郷土館系は情報流通が少ない



全国的な情報流通網が欲しい

民俗資料の活用＝動態保存？ 7 活用の議論不足

廃校収蔵施設に蓄音機やステレオなどの登録資料を動態利用した喫茶室をオープン。蓄音機はニスの塗り直し、ピックアップの後付け
 あり→

論点

- 1) 受け入れ時の状態を保持せず現在の薬剤塗布や他機種の子部品流用は許されるか
- 2) **活用は「聴く」という体験を継承＝資料の機能や役割の保存**と言えるか
- 3) 現状の保存は**形態の保存に過ぎない**のではないか

類似行為：カメラ撮影、もちつき



斜里町立知床博物館農業資料等収蔵施設

イコム職業倫理規定(2004)は処分を条件付で記載

8 未検討の廃棄や処分

収蔵品の除去

2.13 博物館の収蔵品からの除去博物館の収蔵品から資料もしくは標本を除去することは、その資料の意義、性格（更新できる場合もできない場合も）、法的な位置、およびそのような行為から生じ得る公衆の信頼の損失を十分理解した上でのみ行われるべきである。



計画的な交換や廃棄は検討価値あり



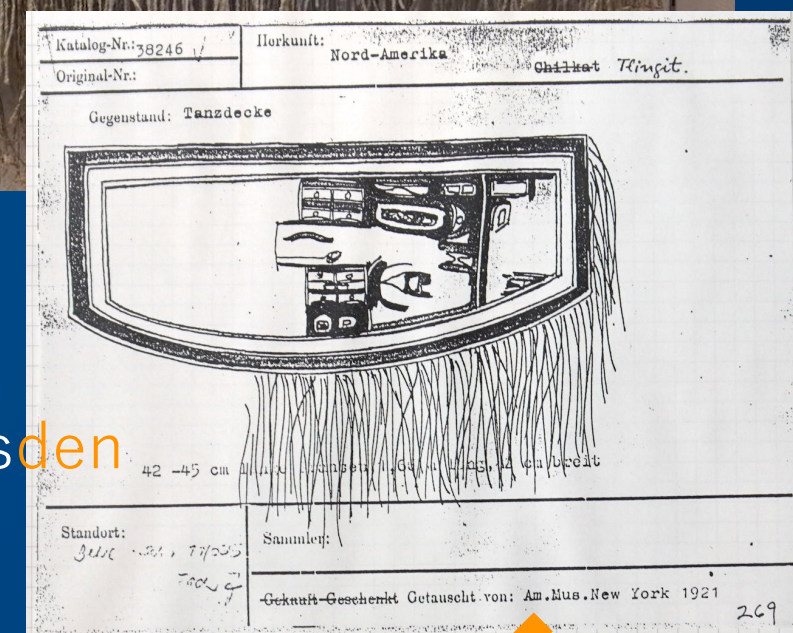
Am. Mus. New York



Museum für Völkerkunde Dresden

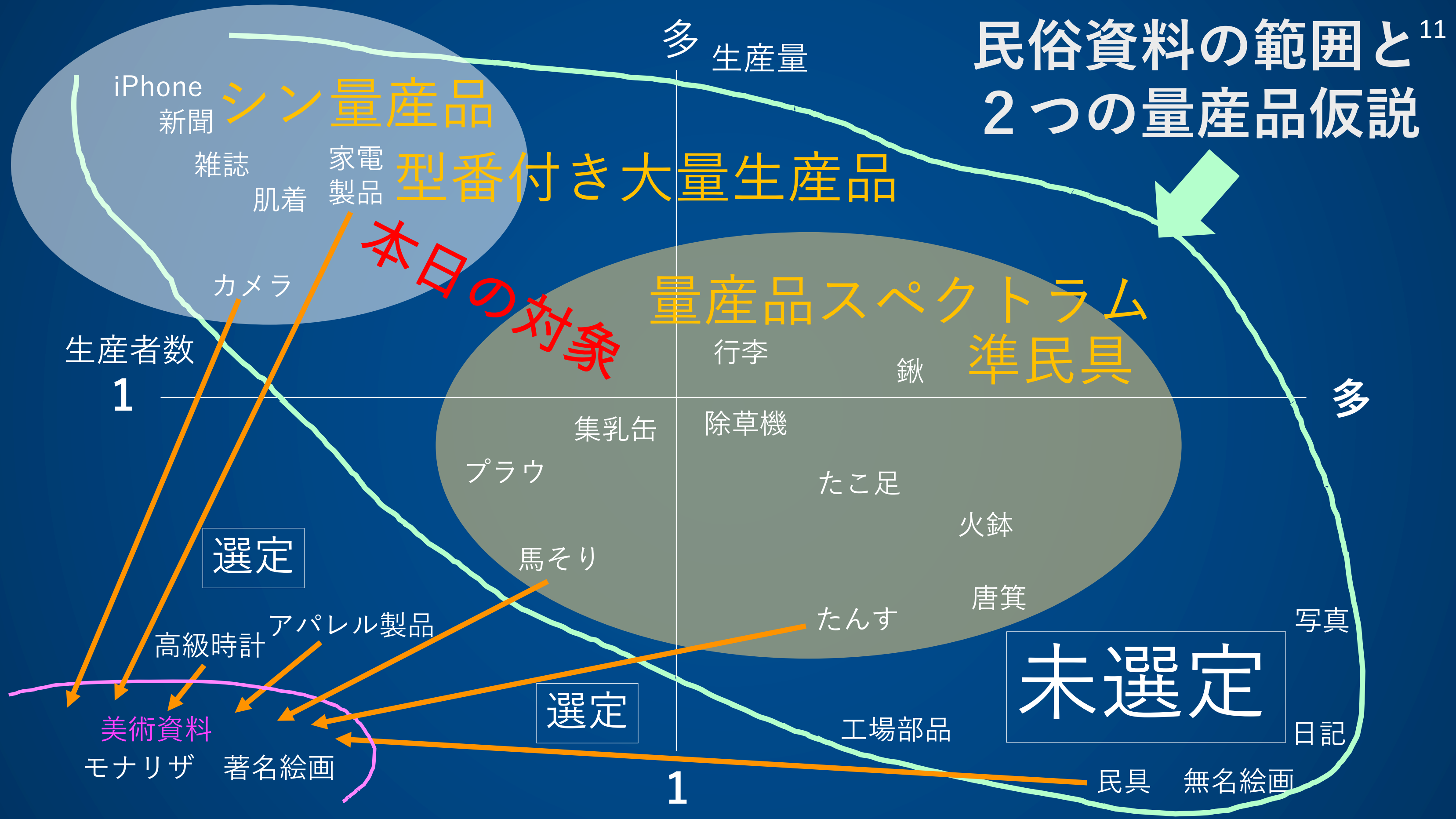


北海道立北方民族博物館



Getauscht von: Am.Mus.New York 1921

民俗資料の範囲と¹¹ 2つの量産品仮説



日程

13:25-13:55 報告1 「民俗資料の収集と保存に関する小規模地方博物館の状況」

持田誠（浦幌町立博物館）

14:00-15:30 講演「フランスの博物館と民俗資料の収集保存と活用」

アリス・ベルトン（グルノーブル・アルプ大学）

15:40-16:10 報告2 「民俗資料のメタデータと情報化保存の可能性」

本間浩一（慶應義塾大学附属システムデザイン・マネジメント研究所）

16:15-16:45 総合討論

17:00 総員退出 → カフェで懇談会？

資料の無秩序な廃棄は
すでに始まっている

現実に追いつく必要性

今日のフォーラムは課題
や論点を洗い出す場に

以上

札幌の東にある江別市で
アスベストを理由に民俗
資料を建物ごと廃棄
北海道新聞 2023-10-13

市民寄贈の民具600点処分 江別市教委、旧文化財整理室 解体時に 建材に石綿、飛散防止で

会員限定記事

2023年10月13日 23:04(10月16日 10:18更新)

あとで読む



市民から寄贈された民具が収められた収蔵庫の内部（市教委提供）



【江別】市教委が今夏、旧文化財整理室（大麻北町）の解体工事を行った際、敷地内の収蔵庫を内部の資料ごと処分していたことが13日分かった。資料は市民から寄贈された民具約600点。市教委は、建材にアスベスト（石綿）が使われ、アスベストの粉じんが屋内で検出されたことから「資料と建物を同時に処分せざるを得なかった」とするが、寄贈者には事前に伝えていなかった。